

□議員名：吉永美子

1 能登半島地震被災地への支援について

論点	他市のように、被災地への支援をもっときちんと形で示していくことが、被災地の皆様に対して大きな力になっていくのではないか。
回答	義援金の募集について、トップページに掲載するようになったのが3月からであることは、議員指摘の通りである。被災をされて、こちらのほうに来られたという方に対する支援もあると思うので、被災者への情報が掲載されたページが分かりやすいように今後、作成をしていきたい。

論点	山口市では、令和6年度能登半島地震被災者支援制度等一覧を作成し、相談窓口や問合せの窓口、電話番号まで明記している。これが目指すべき形ではないか。
回答	議員から提案あったような形も含めて、こういった形で被災者を支援できるかというのは、今後検討していきたい。

2 市長の施政方針について

論点	市長は来年度の施政方針の中で、協創を象徴する事業として地域運営組織とLABVプロジェクトが挙げられると述べているが、これら事業を成功させるために、2期目最後の1年のかじ取りをどのように行っていくつもりか。
回答	いずれも新たな取組であり、試行錯誤をしながら進めていく場面もあると思うが、関係者全員で知恵を出し合い、共に汗を流しながら、一つ一つ課題をクリアしていく協創の力が重要であると考えている。新しいことにも果敢にチャレンジしていく中で、協創によるまちづくりのより一層の推進を図り、活力と笑顔があふれるスマイルシティ山陽小野田をつくり上げていきたいと考えている。

論点	地域運営組織がうまく稼働していくためには、市に相談をしやすくするよう、総合支援窓口的なものの設置を市長として指示する必要性は考えられないか。
----	--

回答	地域交流センターで解決できない課題については、地域交流センターが地域と各部署、市民活動推進課などをつないでいって、課題解決に向けた対応に努めていきたい。窓口は一つとなるよう、しっかりと対応していきたい。
----	---

論点	L A B Vプロジェクトの事業が進行していく中で、事業の達成度をどのようにチェックしていく考えか。
回答	具体的にどのような状態になれば、にぎわい再創出なのかというところの目標設定等については、現在のところはないが、合同会社とともに、エリアを長期間にわたってまちづくりを進めるに当たっては、議員指摘のとおり、目標設定等について、しっかりとこれから話し合っていかなければいけないと思っている。

3 新年度予算編成の公表時期について

論点	新年度予算編成の公表について、他市の例に倣い、もっと早くすることはできないのか。
回答	議員が指摘した他市の事例も見させてもらったが、予算編成作業は各自治体がそれぞれの手法で進めているため、他市の事例をそのまま本市に取り入れることは難しい。現時点では、新たに何らかの情報を公表する具体的な考えはない。

論点	他市のように、予算編成のスケジュールを市民に提示していくことは可能か。
回答	スケジュールについては公表することはいとわない、問題ないかというふうに思う。

4 聴覚障害者への支援について

論点	令和4年5月に施行された障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法に則り、聴覚障害者支援ツールとして「アイ・ドラゴン」を導入すべきではないか。
回答	現時点においては、アイ・ドラゴンの導入よりも、聴覚障害者の方

	の情報取得のためのサービス向上や市広報紙等による手話に対する理解・促進について一層進めていきたいと考えている。
--	---

論点	福祉避難所に避難される際には、アイ・ドラゴンによって、より情報を取りやすいということはあるのではないか。
回答	災害時の情報取得は大変重要なものであるので、福祉避難所における情報取得のツールの一つとして、アイ・ドラゴンの設置については今後研究していきたい。

5 社会保険労務士による学校への出前講座の推進について

論点	児童生徒にワークルールや日本の社会保障制度を知らせることに貢献が期待できる、社会保険労務士による出前講座を実施していくべきではないか。
回答	子供たちが学習を進める過程において、もっと知りたい、もっと詳しく知りたい、調べたい等の要望が出てきた場合や専門家の話を聞く必要が生じるような場合については、各学校の状況により専門家等の出前授業について検討されるものと思う。

6 地域運営組織（RMO）について

論点	本年4月スタートを目指して推進してきたが、組織の立ち上げに向けての状況はどうか。
回答	現在、小学校区を単位とした各地区において、地域運営組織形成の準備を行うための検討が進められている。地区によって、地域課題や特性、団体の活動、意見がそれぞれ異なるので、地域運営組織形成の進捗はまちまちだが、令和6年度内の形成を目指して主体的に取り組んでいただいている。

論点	RMOは、地域の特性はあるといっても、市全体で押し上げていくことが大変重要と考える。モデル地域の指定を行う考えはあるか。
回答	各地区における地域運営組織の形成については現在、それぞれの地区で検討会を設置していただき、組織の形成に向けて地域の実情に

	<p>応じた協議が行われているので、特定の地区をモデル地区として指定する予定はない。行政として、しっかりサポート体制を整えていきたいと思っている。</p>
--	---